

食べること 生きること ～命を支える医療とケア～

このたび協会では、五島朋幸先生（ふれあい歯科ごとう代表）をお招きして講演会を開催いたします。地域ケアの実践を通しての素晴らしいお話です。歯科医師、コ・デンタルのみならず、医療、看護、介護など医療・福祉の第一線で働くみなさんに、ぜひご参加いただきたいと思います。

日時

11月9日（日） 午後1時～4時

会場

京都テルサ Tel:075-692-3400

京都市南区東九条下殿田町70番地（京都府民総合交流プラザ内）

- JR京都駅（八条口西口）より南へ徒歩約10分
- 近鉄東寺駅より東へ徒歩約5分
- 地下鉄九条駅4番出口より西へ徒歩約5分
- 市バス九条車庫南へすぐ
- 名神京都南インターより国道1号北行き市内方面へ九条通を東へ、九条新町交差点を南へ、進入路あり

講師

五島 朋幸 先生（ふれあい歯科ごとう代表）

先生からのメッセージ、ご略歴は裏面をご覧ください

対象

医療・福祉関係者

※参加費は無料ですが、先着150名で締切ります

お申し込み・お問い合わせは 京都府歯科保険医協会事務局まで

TEL:075-431-2314 Fax:075-441-9292

mailto:kyoto-sk@doc-net.or.jp

☞ 五島先生からメッセージ

在宅ケアの時代に突入していく中、歯科には何ができるのでしょうか？

人間の口の機能はいくつかあります。食べること、話すこと、息をすること。いずれも人間が人間らしく生きるために必要不可欠な機能です。しかし、これまでの医療は口を大切にしてきましたでしょうか。口を粗末にするということは生活を粗末にするということです。生活を軽んじた医療が人に優しい医療であるはずがありません。われわれ歯科の社会的使命は、口から食べることを支援し、生命をも支えることなのです。

☞ 五島先生のご略歴

昭和40年広島県生まれ。平成3年日本歯科大学歯学部卒業。平成9年から訪問歯科診療に取り組む。平成15年よりふれあい歯科ごとう代表。ラジオ番組「ドクターごとうの熱血訪問クリニック」のパーソナリティー。作家。

ふれあい歯科ごとう代表。博士（歯学）。日本歯科大学歯学部非常勤講師、日本歯科大学東京短期大学歯科衛生士科非常勤講師、慶應義塾大学大学院非常勤講師、日本プライマリ・ケア学会学会誌編集委員・評議員、NPO法人 生と死を考える会 理事等。

著書に、「食べること生きること ～介護予防と口腔ケア～」（北隆館）（監修・著）、「誤嚥性肺炎予防のための口腔ケアと腸管免疫の重要性」（オーラルケア）、「安全においしく食べるためのガイドブック」（オーラルケア）、などがある。「かいごの学校」、「ゆったり」、「GLスマイル」、「地域ケアリング」、「おはよう21」などの雑誌で連載をもつ。

平成19年3月、病気のために口からうまく食べられなくなった人に、なんとかして「食べる喜び」を再び感じてもらいたいと奮闘する熱血歯科医師の情熱と、そうなることを願って一生懸命支える家族の愛を描いた感動の物語「愛は自転車に乗って—歯医者とスルメと情熱と—」（一橋出版）で作家デビュー。

「家に帰りたい2」（2000年7月 テレビ東京系）、ザ・ドキュメンタリー「食べて欲しい…—歯医者さんが走る—」（2006年8月 テレビ東京）、報道の魂「食べることは生きること」（2007年5月 TBS）、「生活ほっとモーニング」（2007年4月 NHK）、「おはよう日本」（2007年5月 NHK）などのテレビ出演がある。

平成17年9月5日、毎日新聞「ひと」にて紹介される。